

令和7年度 第4回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

資料No	事業種名	事業名	前回評価年度	再評価理由	事業概要	審議区分
3	港湾事業	神戸港国際海上コンテナターミナル整備事業	R3	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の国際競争力を強化することを目的とし、岸壁、航路・泊地等の整備を行う。 ●事業化年度 : 昭和62年度 ●全体事業費 : 5,307億円 ●事業の進捗 : 約90% ●今後の予定 : 令和13年度完成に向け事業進捗を図る。 	重点
4	営繕事業	国立京都国際会館展示施設（Ⅱ期）	R2	②	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 近年の国際会議では、会議と一緒に展示会のほか、各種セレブレーションや商談会等が実施されるなど大型化、多機能化が進んでおり、展示施設（Ⅰ期）完成後においても十分な機能を果たせない状況にあるため、展示施設の拡張整備を図るもの。 ●事業化年度 : 令和3年度 ●全体事業費 : 約75億円 ●事業の進捗 : 約2% ●今後の予定 : 令和9年度に完成予定 	重点
5	道路事業	一般国道165号 香芝柏原改良	R2	②	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 一般国道165号、大和高田バイパス中和幹線から集中する交通を円滑に処理するとともに、交通事故の危険性が高い厳しい線形を改良することによる交通事故の削減、異常気象時通行規制区間の回避等を目的とした延長2.8kmの道路。 ●事業化年度 : 平成23年度 ●全体事業費 : 約178億円 ●事業の進捗 : 約32%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	重点
6	道路事業	中部縦貫自動車道 一般国道158号 大野油坂道路 (大野東～和泉区間)	R5	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、異常気象時の交通の確保、観光周遊機能の向上、高度医療機関へのアクセス向上を目的とした自動車専用道路。 ●事業化年度 : 平成20年度 ●全体事業費 : 約1,083億円 ●事業の進捗 : 約99%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 道路周辺の工事を完了する。（令和5年10月開通済み） 	重点
		中部縦貫自動車道 一般国道158号 大野油坂道路 (和泉～油坂区間)	R5	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、異常気象時の交通の確保、観光周遊機能の向上、高度医療機関へのアクセス向上を目的とした自動車専用道路。 ●事業化年度 : 平成24年度 ●全体事業費 : 約1,959億円 ●事業の進捗 : 約72%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	
7	道路事業	山陰近畿自動車道 一般国道178号 城崎道路	R5	①	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 城崎道路は、災害に強い道路ネットワークの確保、走行時間短縮による救急医療活動及び観光振興の支援を目的に国による権限代行により整備を行う事業。 ●事業化年度 : 令和5年度 ●全体事業費 : 約1,150億円 ●事業の進捗 : 約1%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	重点
		山陰近畿自動車道 一般国道312号 大宮峰山道路	R4	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大宮峰山道路は、山陰近畿自動車道の一部区間を構成し、国道312号の交通混雑の緩和、日本三景の天橋立と日本海沿岸部を周遊する観光ルートの強化を目的とした延長5.0kmの事業。 ●事業化年度 : 平成27年度 ●全体事業費 : 約305億円 ●事業の進捗 : 約33%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	

令和7年度 第4回 事業評価対象事業の一覧表
(再評価)

資料No	事業種名	事業名	前回評価年度	再評価理由	事業概要	審議区分
8	道路事業	一般国道2号 神戸西バイパス	R6	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 神戸西バイパスは、神戸市垂水区から明石市を結ぶ延長約12.5kmの高規格道路であり、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路のバイパスとして計画された道路。 ●事業化年度 : 昭和63年度 ●全体事業費 : 約2,970億円 ●事業の進捗 : 約60%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	重点
9	道路事業	京奈和自動車道 一般国道24号 大和北道路（奈良北～奈良）	R4	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大和北道路は、京奈和自動車道の一部として高速道路ネットワークを形成し、交通混雑の緩和、交通安全の向上、広域的なアクセス性向上などを通じ、地域の活性化を図ることを目的とした道路。 ●事業化年度 : 平成30年度 ●全体事業費 : 約2,050億円 ●事業の進捗 : 約2%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	重点
		京奈和自動車道 一般国道24号 大和北道路	R4	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大和北道路は、京奈和自動車道の一部として高速道路ネットワークを形成し、交通混雑の緩和、交通安全の向上、広域的なアクセス性向上などを通じ、地域の活性化を図ることを目的とした道路。 ●事業化年度 : 平成20年度 ●全体事業費 : 約1,430億円 ●事業の進捗 : 約45%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	
		京奈和自動車道 一般国道24号 大和御所道路	R4	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 大和御所道路は、京奈和自動車道の一部として高速道路ネットワークを形成し、交通混雑の緩和、交通安全の向上、広域的なアクセス性向上などを通じ、地域の活性化を図ることを目的とした道路。 ●事業化年度 : 昭和47年度 ●全体事業費 : 約6,136億円 ●事業の進捗 : 約78%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	
10	道路事業	一般国道28号 洲本バイパス	R6	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、洲本市内の国道28号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時の代替路の確保等を目的とした延長6.0kmのバイパス。 ●事業化年度 : 昭和60年度 ●全体事業費 : 約535億円 ●事業の進捗 : 約77%（令和7年3月末現在） ●今後の予定 : 早期の開通を目指す。 	重点

[再評価理由]

- ①：事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②：事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③：準備・計画段階で3年間が経過している事業
- ④：再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤：社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥：道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和7年度 第4回)

事業評価対象事業の位置図

